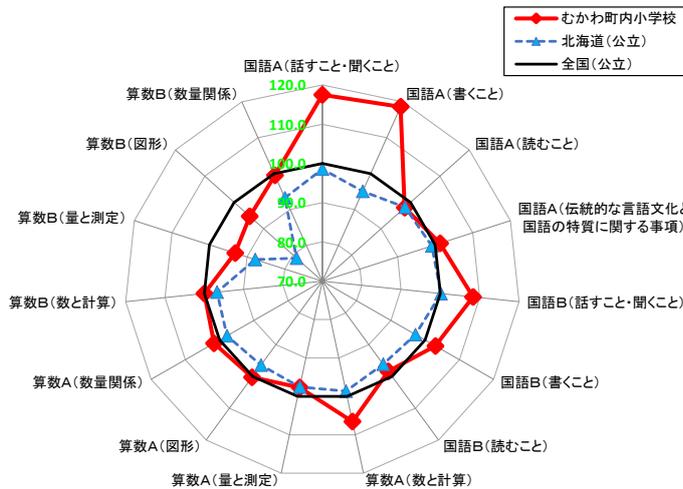


# ■むかわ町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:64人)

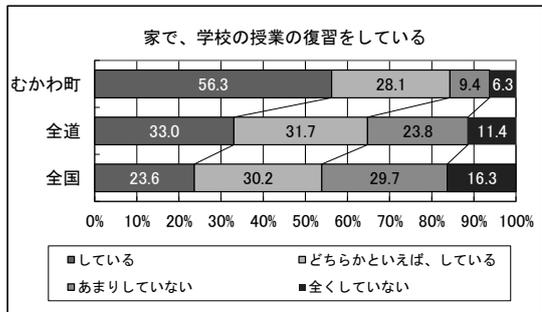
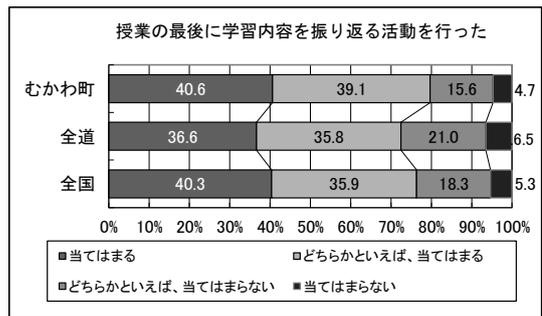
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

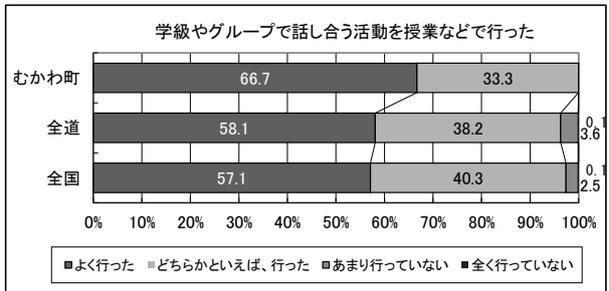
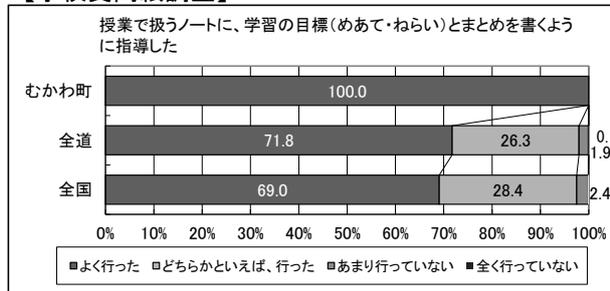
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A・B、算数Aにおいて、全国の平均正答率を上回っている。</li> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業の最後に学習内容を振り返る活動を行ったことにより、主体的に家庭学習に取り組むようになり、家庭学習の習慣化が図られたと考えられる。</li> <li>○ 各学校において、教師が目的や視点を明確に示し、学級やグループで話し合う活動を行ったことにより、児童の言語意識が高まり、特に国語において、ほぼすべての領域で全国を上回ったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動を行った」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ すべての学校が、「授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導した」と回答している。</li> <li>○ 「学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【むかわ町の学力向上策】

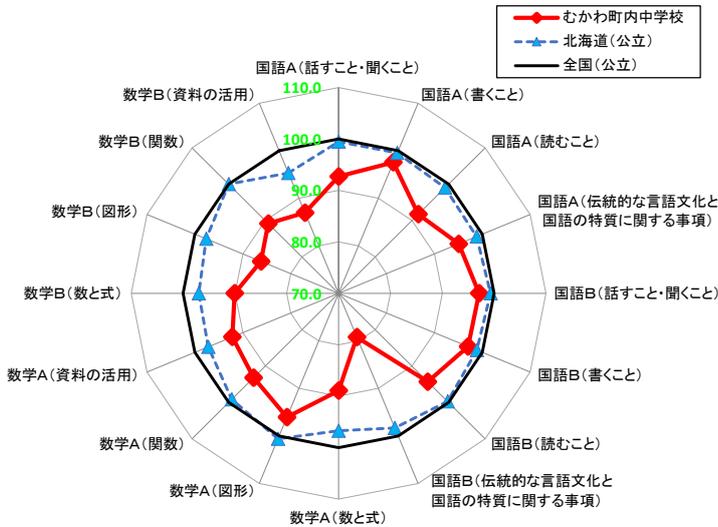
- ◎ 町独自の学習支援員、補助教員の配置
- ◎ 学力向上対策部を中心に、標準学力検査(CRT)の分析による指導方法の充実・改善
- ◎ 通学合宿等の実施、学習意欲の向上と理解力を高める学びの環境整備
- ◎ 「家庭学習のてびき」の配付及び「生活実態アンケート調査」の実施による家庭と連携した家庭学習習慣の定着と内容の取組の充実
- ◎ 小・中学校の連携、9年間見通した学習・生活規律の定着

# ■むかわ町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:64人)

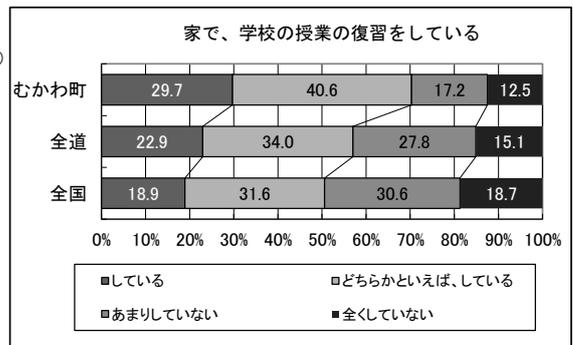
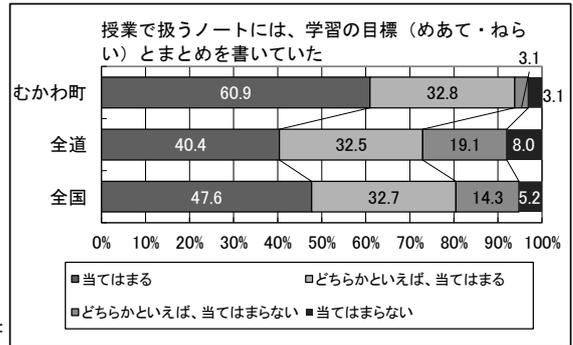
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

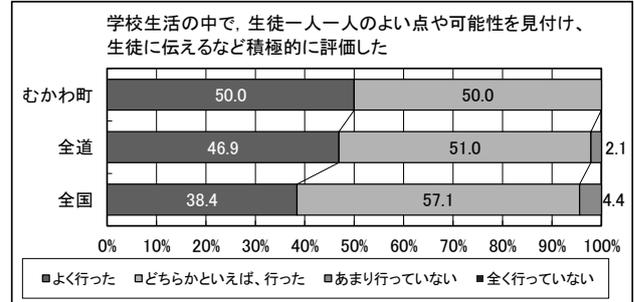
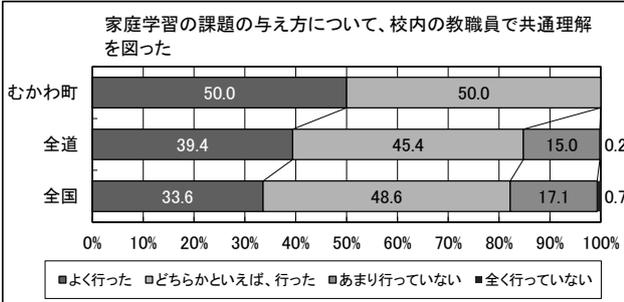
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Bでは、「書くこと」で、全国に最も近くなっている。</li> <li>○ 数学Aでは、「図形」で、全国に最も近くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業において、生徒がノートに学習の目標やまとめを書くことにより、家で学校の授業の復習をするようになり、国語Bの「書くこと」、数学Aの「図形」で全国に最も近くなったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、「家庭学習のてびき」を活用して家庭学習の与え方について全教職員が共通理解を図るとともに、教師が生徒一人一人のよい点を積極的に評価するなどの共感的な関わりを大切にしたことにより、生徒の自己有用感が高まり、学力向上が図られたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 「学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、生徒に伝えるなど積極的に評価した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

## 【むかわ町の学力向上策】

- ◎ 学力向上対策部を中心に、標準学力検査(CRT)の分析による指導方法の充実・改善
- ◎ 「家庭学習のてびき」の配付及び「生活実態アンケート調査」の実施による家庭と連携した家庭学習習慣の定着と内容の取組の充実
- ◎ 習熟度別学習の実施の拡大、振り返りの時間の設定
- ◎ 全国学力・学習状況調査の過去問題や、ほっかいどうチャレンジテストの授業における積極的活用
- ◎ 小中連携し、9年間見通した学習・生活規律の定着